

# 飼料用米「べこあおば」「なつあおば」は 直播栽培でも75kg/a取れる

福島県農業総合センター 作物園芸部稲作科

## 1 部門名

水稻—水稻—品種、水稻直播

## 2 担当者

藤田智博・佐久間祐樹

## 3 要旨

飼料用米の「べこあおば」と「なつあおば」における鉄コーティング直播栽培は、窒素成分量0.6、0.2+0.2(基肥、幼形+減分期追肥)、牛糞堆肥200kg/aで「ふくひびき」並の粗玄米重75kg/aの収量を確保することができる。

- (1) 飼料用米は粳千粒重が極端に異なるので、播種粒数をそろえるために千粒重を参考にして播種量を決定する必要がある(表1)。
- (2) 生育は幼穂形成期以降「なつあおば」が早く、「べこあおば」は遅い(表2)。
- (3) 苗立数は50本/㎡以上あれば、その後の雑草対策や追肥、水管理等を徹底することで、粗玄米重75kg/aを確保することができる(図1)。
- (4) 「なつあおば」は粗玄米重は「ふくひびき」並でわら重が重い、「べこあおば」は稔実歩合に年次変動がある(図2、

3)。表1 粳千粒重と播種量の補正割合

品種名	粳千粒重 (g/1000粒)	同割合 (%)
ふくひびき	31.4	±0
べこあおば	39.4	+26
なつあおば	28.5	-9

注. 鉄コーティング前の乾粳重。

表2 生育ステージ

品種名	出芽日	幼穂形 成始期	出穂期	成熟期
ふくひびき	5/21	7/14	8/8	9/27
べこあおば	5/19	7/18	8/11	9/29
なつあおば	5/19	7/8	8/5	9/23

注) 播種は平成25年5月9日。

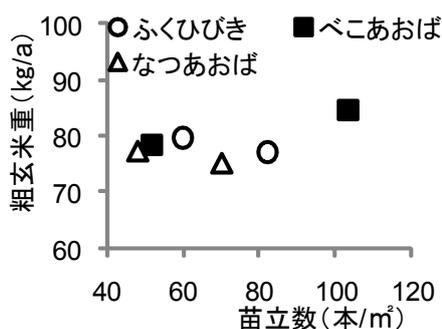


図1 苗立数と粗玄米重(平成24、25年)

注. 粗玄米重は水分率15%。

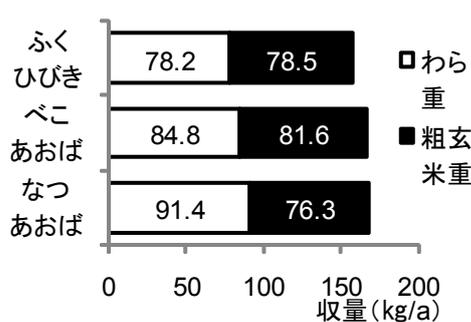


図2 わら重と粗玄米重(平成24、25年の平均)

注. わら重は風乾重、粗玄米は水分率15%。

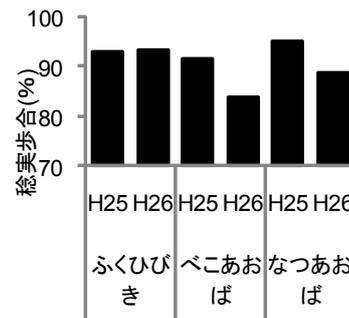


図3 稔実歩合

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成25年度～26年度
- (2) 研究課題名 寒冷地における地域有機質資材活用による飼料用米低コスト多収生産技術の確立(飼料用稲の有機質資材活用による多収栽培技術の開発)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導 参考)

## 5 主な参考文献・資料